

美瑛富士・携帯トイレブース等点検パトロール実施報告書

(2017.6.10 改定)

実施年月日	2017年9月24日 (日) 曇り	団体名/所属先	山のトイレを考える会 環境省、美瑛山岳会
参加人数	8人	報告者	仲俣善雄

NO	点検項目	結果と措置内容
1	携帯トイレブース本体 (テントの破損は無いかな、固定ロープの緩みはないかな等)	台風18号(9月18日)で倒壊
2	携帯トイレブース内 (汚れていないか、便座の破損はないかな等)	カウンターも飛ばされていたが無事回収
	ブース利用カウンター値	カウンター数値: 3423
3	小屋周辺のティッシュ散乱状況 (ティッシュ散乱数、または回収数の確認、その他のゴミ散乱状況確認、回収)	ティッシュ: 14個 汚物: なし
4	小屋内外 (損傷した箇所はないかな等)	
5	小屋内 (清掃はされているか、放置したゴミはないか、小さなゴミは回収したかな等)	清掃されていた。ペットボトル2本回収
6	回収ボックス(白金観光センター隣のトイレ横) *鍵番号は530(ゴミゼロ)	カウンター数値: 322 携帯トイレの数: 14個
7	小屋配備の携帯トイレの補充	在庫: 13個。 補充: 0個

感想・特記事項

- ・白金温泉の回収ボックスに14個入っており携帯トイレが使われているのを実感した。
- ・テントは引き千切られていたが、携帯トイレブースの固定がしっかりしていた。
- ・ティッシュの残置場所が集中していた。汚物は無かった。
- ・持ち出された無料携帯トイレの総計は108個(持ち出し記録簿の記入は35件55個。北海道の人9割、本州の人1割だった)

参加者名(※はリーダー)

※榎厚生自然保護官ほか1名(環境省)、三浦陽一(美瑛山岳会会長)  
岩村和彦、仲俣善雄、吉田俊一、樋口みな子、坂口一弘(山のトイレを考える会)